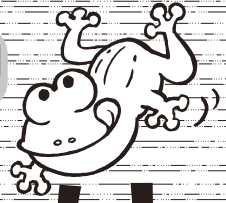


かじかのさとだより

第29号



発行/〒889-2401 南那珂郡北郷町大字大藤甲3186番地1/TEL0987(55)3738 FAX0987(55)3739
 社会福祉法人 愛泉会 特別養護老人ホーム 河鹿の里



山下 チヨ 様



土屋 ミツヲ 様

あの頃の夢 花嫁衣装

うららかな春の光が差し、はなみづきが鮮やかに彩る季節となりました。

新年度を迎えるこの季節には、御家族様の身近な方々の中に御入学や社会人を迎えた方が、沢山いらっしゃるのではないかと思います。夢や希望を持って、目を輝かせ、はつらつとした皆様方の益々のご活躍と健康な毎日が送れます様、心よりお祈り申し上げます。

さて、今回は目を輝かした利用者さんの出来事で、春にぴったりのお便りをご紹介します。

三月十四日、河鹿の里デイサービスセンターでは、戦中戦後に結婚をされた方々に、花嫁衣装を着て頂く催しが行われました。純白のドレスや深紅のドレス、タキシード等に身を包み、六人の利用者の皆さんが輝かしく大変身され、施設内はうきうきとした声が大きく飛びかい、華いで

いました。高い天井の建物は更に雰囲気をかもし出し、ご夫婦での参加は何よりも喜ばしい光景であったことや、五十年から八十年前に至るそれぞれの皆さんの思いを語り、突然のこの機会に大変喜ばれていました。女性なら、一度は美しい結婚衣装を着る事が「夢」、その夢が叶った瞬間で、心に残るアルバムができた様です。

この機会に今回は河鹿の里から三名の方が、デイサービスの利用者の皆さんとの交流を深め、試着を楽しまれて初めてのデイサービス見学も兼ねた出来事となりました。

催しに御協力をして下さった「メモリーオブプリンセス」(宮崎橘通り)

古國美津子様には、次の希望者がすぐにあり、喜びの大きさに「ぜひ、又来て見たい素晴らしい所ですね。」と絶賛して下さいました事を、心よりお礼を申し上げます。





二月から書道教室でお世話になっている竹内美津子です。リタイヤして七年。毎日が変わりませんが、皆様の明るい笑顔にすくわれていきます。ひと月に一回の逢瀬！よろしくお願ひ致します。



竹内 美津子 先生



弓削 アグリ 様 崎村 ナツエ 様

弓削アグリ様は、編み物がとても上手で先日は、洗面所を磨く為のアクリルタワシを全居室分作って下さいました。おかげで各居室の洗面所は大変きれいになっております。又今回は、同室の崎村さんに習い、キューピー人形の洋服を作られました。「肩と脇を合わせて、ぐりを編んでいく所が難しかった。」と言われてましたが、大変上手に出来あがっています。これからも毎日の生活の中で、色々な作品を作り、楽しんで頂きたいと思っています。



河野三省様は、毎日日記をつけていらつしゃいます。その日の計画や実際に何をしたら、又は、一日の反省を含めた事、感じた事などを記



高橋 千鶴 様

高橋千鶴様には、レクリエーションの時間に、短時間ではありますがありますが、ピアノを弾いて頂いています。以前幼稚園園長の経験もあり、その腕前は衰えておらず、他の利用者の皆様もびっくりされています。これからも沢山の曲を弾いていただき、私達を和ませて頂きたいと思っています。



崎村 良次 様

園内では、車椅子で生活の方が大半を占めていますが、中には、毎日のように歩行訓練を頑張っている方もいます。スタッフと共に園内を一周される間には、歌を共に唄いながら、又はお話しをしながら楽しいひと時を過ごしていらつしゃいます。



河野 三省 様

毎日の食前に口腔体操を行っています。深呼吸や発声、舌の運動など皆様、笑顔で真剣に取り組まれ、食事が大変美味しいと好評です。



健康である為には、運動と言う事で毎日のレクリエーションの時間に棒体操を行っています。ソーラン節に合わせて腕のストレッチを主としております。利用者の皆様は、毎回笑顔で楽しそうに取り組まれ健康維持の為、頑張っていると思います。



外山 道子 様

母のまなざし



本井 ヤエ子 様

私の母ちゃん

わたしの母ちゃんは、物心ついた頃から、ずうつと働き詰めでした。

振り返ってみると、思い出すのはいつも作業着姿の母ちゃん、私たち兄妹四人、母ちゃんの寝顔を見たことがありませんでした。貧しい生活の中、大黒柱の父ちゃんを中心に一生懸命頑張つて、苦しいながらも家族全員力を合わせて楽しく過ごしてきました。

その中でも母ちゃんは、ひとときわ負けん気の強い人でしたから、父ちゃんのきつい仕事を手伝いながらも私たちを大きく育ててくれました。私たちが今あるのは、そんな母ちゃんの優しさがあつたから

と思つています。

私たちが社会人になり兄妹みんな家族を持つ頃には、幾分かゆとりが出来たのか、少しはのんびりする日もあつたようです。近所の方々と遊びに行つたり、温泉にも行つたりと楽しんでいました。その頃になると、厳しかつた父ちゃんも優しくなり、二人仲良く暮らすようになっていました。

でも、父ちゃんが若い頃の無理が出たのか少しずつ体の調子が悪くなり、入退院の日々が続くようになりしました。母ちゃんも一生懸命尽くしましたが、父ちゃんは今から十年前に亡くなりました。

それから三年ほどたつた頃、それまで医者にかかつたことのない母ちゃんが、足を骨折したり、「背中が痛い」と言つては入退院の繰り返しが続くようになりました。そんな生活のせいなのか時々、意味のわからないことを言ったり叫んだりして、だんだん話が合わなくなりました。その後、私たちと一緒に生活をするようになって、症状は悪くなる一方で時には変な行動をするようになりまし

た。大変な事になって途方に暮れていたときに、現在の

「河鹿の里」に入所させて頂くことになり心から救われる思いでした。

スタッフの方々には色々とおまかせいただきありがとうございます。これからは、一年でも一日でも今まで苦勞をした分、長く生きて親孝行させてほしいと思います。

本当に優しい明るい母ちゃんです。兄妹みんなで感謝しています。

「かあちゃん、

本当にありがとう」

本井 一郎(息子)

スタッフより一言

冗談を言つては周囲の雰囲気明るくして下さいます。笑顔が最高です！



野田 テル子 様

河鹿の里入園の恵にて

妻テル子が昨年から入所させて頂き園長先生始め職員の皆様には限りなく迷惑をかけお世話になり改めて心よりお礼を申し上げます。

二年前までは、テル子もコツコツと家事を手伝っていたが、病状の進行で現在の状態になり私の方が悲痛な思いで毎日を過ごしています。

私達、過去を振り返り見れば三人の子宝に恵まれて人様のお世話が出来ます事を本当に幸せであると共に一重にも仕付けと教への賜と思つています。私達八人兄妹の二男で、昔は田畑、みかん園、幅広く共々苦勞しました。入所の当所は、私の方が寂しく感じることはかりで今ようやく慣れて精出しています。農閑期には、ダンゴ作りが得意で、イリコダンゴは名人です。又日南海岸の磯のトサカ取りは友人と車で取りに行く楽しさ。昨年は外泊許可を頂き霧島温泉又、ヒ孫の誕生祝い、弟妹、子供達寄り合つて楽しい時間を過ごす事が出来てテル子の喜びの笑顔を見た時、嬉しく思います。送り届

ける時には嫌がる事も無く

帰る後姿を見て、みんなに「またな」と云つて帰る後姿、心の中で涙を流して送り出す姿、本当に可哀相であるがホツとする気持ちと満足感で一杯です。在宅のサービス期日中は、弟妹が二、三日置きにご馳走を持参してくれました。テル子は、有難うと云つていました。

私も家事の仕事が多くて、一ヶ月の利用料を納入する時に約五分間位の面会ですが、笑顔を見せてくれます。本当に有難う感謝の気持ちで一杯です。帰る時に「またな」と云うと笑つてくれます。

行き届きませんが私の意中をお察し下さいます様くれぐれも心からお願ひ申し上げます。入所中は、皆さんから愛される楽しい日々をお送り下さい。お元気で。

野田 行宣(夫)

スタッフより一言

色々な行事に参加され、楽しまれています。これからも長生きして下さいね。

地域包括支援センター 介護予防をこぞ存知ですか？

介護予防とは、高齢者がなるべく要介護状態にならないよう、そして、介護が必要な人もそれ以上悪化させない取り組みです。

介護予防は、決して難しいことではありません。日常生活のちよつとした工夫により、心身の過度の老化を防ぎ、自分でできることの範囲を広げていくことが介護予防につながっていきます。

(元気なうちから介護予防)

「自分はまだ元気だから介護予防は必要ない」と思っていますか。生活習慣などの病氣予防も介護の予防と同じ元気なうちから取り組んでいくことが大切です。

介護予防を支える機関として地域包括支援センターがあります。ここ河鹿の里でも平成十八年四月より町より委託を受け、業務を行っております。

今後、地域包括支援センターの果たす役割は、多岐に渡り町民の皆様が住みなれた地域でその人らしい生活を継続できるよう支援できればと考えております。

企画運営委員会だより

当委員会では、主に広報誌の発行と年間行事等の企画を行っております。「かじかの里だより」は、御家族の皆様のお協力を頂き、本紙で二十九回目を数えました。

行事等の企画においては、内容に工夫を重ねると共に新しい取り組みとして、健康棒体操や口腔体操等を実施し好評を頂いております。これからも利用者の皆様に喜んで頂ける様な企画運営に努力していきたいと考えております。

事故防止委員会だより

施設においては、利用者の皆様に対し、安全かつ安心して生活を提供することが、私達職員の役割だと思っております。しかし不可抗力：等を含め、予期せぬ事故が起こりうる可能性も十分考えられます。当委員会では事故原因を分析すると共に対応策等を検討し、事故の再発防止に努力している所です。今後事故のない明るい施設を目指していきたいと考えております。

「自衛消防訓練研修」に参加して

副相談員 岡本 貴洋

今回、自衛消防訓練研修に参加させていただき大変良い体験が出来ました。規律訓練では遠くの人でも誘導できる様な大きな声を出す訓練も行われ災害時、避難する際、周囲の人々を救う為にも大きく遠くまで届く声は重要なものだと思ひました。消火器取扱い訓練では、まず消火器の設置場所の把握、そして、消火にあたる際は、いかに火の小さな内に消火活動を行えるか、炎の規模が広がらない内に初期消火にあたるなど、その重要性を学びました。その他、通報訓練、地震災害時訓練、救急法での心肺蘇生法など、研修内容は中身の濃いもので、いつ、災害が起こるかかわからない日常の中で、自分のものにしておくべき訓練でした。研修を通して、「改めて災害の怖さを知り、避難訓練の大切さ、人の命を救える為の知識を身に付けておく事、周知徹底しておく事で、自分自身も救われる事になる」という事を学びました。

河鹿の里でも、月に一度、防災訓練を実施しております。今後、研修で学んだ事を念頭に置き、災害訓練にあたりたいと思います。

新人スタッフ紹介



牛衛 祐次さん



平原 慎太郎さん

利用者の皆様が毎日楽しく園生活を過ごして頂ける様に早く皆様の事を知り仕事のながれを把握したいと思ひます。全力で頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

早く業務内容を覚え利用者の皆様の役に立てる様に頑張っていきたいと思ひます。

利用者の皆様や御家族の皆様気軽に声を掛けて下さい。これからどうぞ宜しくお願い致します。

お二人は、宮崎福祉医療カレッジを卒業した介護福祉士です。

利用者の皆様に信頼される職員を目指して、頑張っています。

退職

平成二十年三月三十一日付で退職されました。

介護福祉士 河野 さちえ氏

大変おつかれ様でした。今後の御活躍と御多幸をお祈り致します。

看護師より

すっかり春らしくなり、過ごしやすい季節となりました。さて今年の冬も、皆様の御協力を頂き、面会場所の設定、面会制限、マスク着用等を行い感染予防に努めてきた結果、大事には至らず経過することができました。今後も利用者の皆様の健康管理を行うてまいります。

お知らせ

五月十一日は「母の日、父の日」の行事を開催致します。当日は家族会総会も行われますので、お忙しい事とは存じますが、多数の皆様の参加協力をお願い致します。

編集後記

新年度を迎え、新たな気持ちで業務に取り組んでおります。今後共、御協力をお願い致します。